

城島 糸満市商工観光課で市場開発の担当をしています。4月のプレオープンを目指している市場は、延べ床面積約1389平米、店舗面積約566平米、店舗数が28店舗となっています。店内は市場を体感できるように、昔ながらの相対売りを残しつつ、精肉鮮魚のお店が並ぶ市場エリアや地元食材を使った料理が食べられる飲食店エリア、催し物が行われるイベントエリアなどに分かれています。駐車場は、4月にA棟の解体工事を実施し、6月のグランドオープンに向けて完成する予定です。

3

市場の再開・発展について

上原(秀) これまで市場を活性化させるために活動してきた人やこれから活動したい人と一緒に、市場だけで

はなく、その周辺にもぎわうような取り組みの検討が必要です。昔ながらの市場の雰囲気を残しつつ、絵画や写真などのアート展を開催するなど、子どもからお年寄りまで集まるようなイベントや、シャッター街の通りを活用した取り組みを活性化委員会などで検討し、昔のようなにぎわいを取り戻したいと思っています。

上原(妃) 愛称の応募のきっかけは、チラシをみた時に、自分が育ってきた市場のことを考えるいい機会になると思って応募しました。「いとまゝる」には、市場で働く人たちと、来店していただくお客さまのゆいまるの場所になつてほしいという思いが込められています。買い物をするだけではなく、市場に来ると誰かと会話ができて癒される憩いの場所になつてほしいです。

上原(政) 市場の再生を検討して、30年から40年ぐらいになります。何度も行政と一緒に

に話し合いの場をもって検討してきましたが、いまだ打開策が見つからないです。民間の大型スーパーでなんでもそろえることができる時代に、市場が同じようなことをしても勝つことはできません。これからの市場は、経済格差からなる子どもたちの貧困や家庭の貧困、老人の貧困など、現代社会の現状を逆手に捉えた新しい発想が必要です。昔は徘徊している子どもたちや経済的に困っている人に「ご飯食べた？」と声を掛け、少し食べ物分けたりして地域で支え合っていました。こういうことは、市場でしかできない「いちゃりばちよーで」の取り組みで、民間の大型スーパーなどでは絶対にできません。個々のニーズが多様化して共存意識が低くなっている時代ですが、昔のようにみんなで助け合い支え合ってきたところを再構築していくことが市場の活性化につながるのではないのでしょうか。

城島 来客数が減少している原因として、駐車場の確保や

一方通行の道路が多く場所が分かりづらいなどの課題があります。新しい駐車場は51台ほどとめられるようになるので、市場から離れた地域の市民も訪れやすくなります。一方通行の道路対策については、簡易の案内板や糸満ロータリーから市場までの街灯にフラッグを取り付けて導線をつくる方法などを検討したいと思っています。これから

4

市場の発展について

市長 皆さまの話を聞かせていただき、大型スーパーとの差別化や道路の整備、市場周辺の開発などの課題について、改めて認識することができました。わたしも

市場の近くに住んでいたのですが、当時のことはよく知っています。今では17時以降は人がいなくてさみしい状況が続いています。市場開発はわたしの公約の一つでもありますので、新市場のオープンを契機に周辺地域も含めて元気にしていきたいと思っています。現在、成功している市場として那覇市栄町市場がある

と思います。空き店舗だったお店のほとんどが飲食店でうまり、昼夜問わずたくさんの人でにぎわっています。本市の市場でも夕方までばら売り、いわゆる相対売りのお店を並べたり、空き店舗を活用して飲食店を増やしたりするなど、参考にできる取り組みがたくさんあると思います。また、道の駅いとまんのように販売だ

けではなく、そこで食べてもらうような仕組みを作ること、那覇市や豊見城市、八重瀬町などの市外からも人が訪れる場所になれると思います。市場周辺の開発については、糸満漁業協同組合の西側から糸満漁港中地区にある旧ボーリング場までの通りおよび糸満ロータリーからの道路整備を含めマンションの建築など、

人が集まるような開発を検討していきたいと思っています。幅広い年齢層がちよつと遠出をしてもいいから行きたくなるような市場になるよう今後とも皆さまと協力しながら開発を進めていきたいと思っています。本日は、お忙しい中「2020旧正月×座談会」に参加していただき、ありがとうございました。

うえはら まさのり 上原 政則 さん

終戦間もないころ母親が輸入品店として立ち上げた「上原食料品店」の2代目店主。



うえはら ひでき 上原 秀輝 さん

IT・システムの開発会社「ティーダネットカンパニー」の代表取締役、糸満の暮らし体感施設活性化委員会の委員。



うえはら ひなこ 上原 妃奈子 さん

新市場(糸満の暮らし体感施設)の愛称「いとまゝる」の作者。糸満漁業協同組合総務課で勤務。



しろしま えいた 城島 栄太 さん

糸満市商工観光課で市場開発の担当として4年目の市職員。



入居者募集！

内容

「糸満市場 いとまゝる」の空き店舗について、入居者を募集しています。

場所

糸満市字糸満989の83番地

募集期間

随時

※空き店舗が埋まり次第、受け付けを終了させていただきます。

提出資料

【一般店舗／個人・団体】

- ① 入居希望表明書
- ② 事業計画書
- ③ ①・②に加え

▼団体(法人含む)

- a 登記簿謄本
- b 定款または規約書など
- c 過去2力年分の決算書など
- d 法人の完納証明書(市町村税・県税・国税)

▼個人の場合

a 住民票

b 過去2力年の確定申告書の写し

c 完納証明書(市町村税)または非課税証明書(国民健康保険税(料)の完納証明書)

【バラ市／個人・団体】

- ① 入居希望表明書
- ② 事業計画書
- ③ ①・②に加え

▼団体(法人含む)

- a 登記簿謄本
- b 定款または規約書など
- c 過去2力年分の決算書など
- d 法人の完納証明書(市町村税・県税・国税)

▼個人の場合

a 住民票

b 完納証明書(市町村税)または非課税証明書

※資料の様式などについては、市役所3階商工観光課、または糸満市のホームページから入手できます。